

館山湾振興ビジョン -概要版-

平成 21 年 3 月

館 山 市

館山湾振興ビジョン - 概要版 -

目次

1. ビジョン策定の背景	1
2. 館山湾振興ビジョンの基本理念と目指す姿	2
3. 館山湾振興ビジョンの全体構成	3
4. 館山湾振興ビジョンの戦略プロジェクト位置図	7
5. 館山湾振興ビジョンの実現に向けて	9
戦略1 館山港多目的観光棧橋利活用プロジェクト	11
戦略2 交流拠点“渚の駅”を含めた交流ゾーン形成プロジェクト	13
戦略3 プレジャーボート利活用プロジェクト	15
戦略4 ビーチ利用促進モデル事業および那古船形海岸事業推進プロジェクト	17
戦略5 船形漁港・船形地区活性化プロジェクト	21
戦略6 館山湾及び館山市沿岸域の海上・陸上交通網の構築プロジェクト	23
戦略7 館山湾多目的（防災・安全・環境）利用プロジェクト	27

1. ビジョン策定の背景

館山湾は古来より、各時代を通じて人や物の玄関口としての重要な役割を果たしており、これを通じて館山市は安房地域の中心的な都市として発展を遂げてきました。こうした歴史的に館山湾が果たしてきた役割を踏まえて、湾や海を活用した地域の発展や活性化という視点で、再認識していく必要があると考えられます。

また、館山湾の現状をみると、かつての温暖な気候と砂浜を活かした海水浴場や保養地から、プレジャーボートや水上バイクなどのマリンスポーツとしての役割を備えつつあります。北限サンゴ、海ほたるなど、首都圏において貴重な海の自然を活用し、海辺の環境学習（体験学習）や水中観光船などの就航、伝統の漁業や水産資源を活用したふれあい市場など観光地としての環境も整い始めています。

館山港においては、「館山港港湾振興ビジョン」に則り、地域振興に資する目的で、館山港多目的観光桟橋や、交流拠点「渚の駅」等の整備が進められ、また、「みなとオアシスたてやま・渚の駅」が関東地方整備局からみなとオアシスとして認定されるなど、中核的な施設が出来つつあるものの、現在は「海辺のまちづくり」の実現に向けた取り組みの、第一歩を踏み出した状況に過ぎません。

そこで、館山湾を中心とする館山市全体を活用したさらなる魅力向上の取り組みを進め、これらを通じて交流人口の増大や地域の活性化、そして「海辺のまちづくり」の実現に資するビジョンとして、「館山湾振興ビジョン」を策定しました。



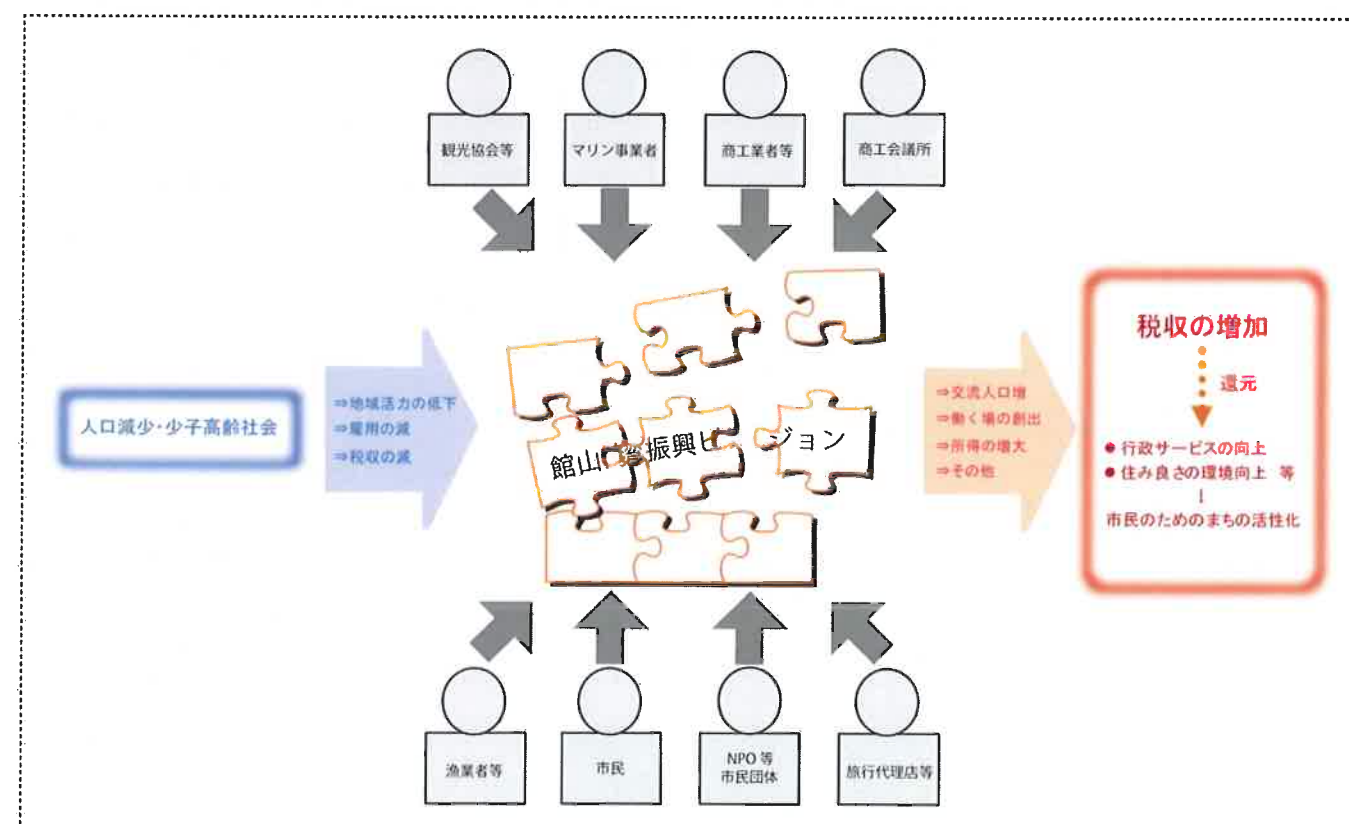
館山湾

2. 館山湾振興ビジョンの基本理念と目指す姿

館山湾の歴史的な意味を十分に踏まえ、館山湾振興ビジョンの基本的な考え方を『館山湾に備わるあらゆる資源を駆使して集客、集船を図り、これらを通じて、館山らしい、まちづくり・観光・産業などの振興、活性化を図り、真に「海辺のまちづくり」を実現していく』こととし、基本理念を、以下のとおりを設定しました。

せんきゃくばんらい 『千（船）客万来の交流拠点・館山湾』

人口減少・少子高齢社会に際し、地域活力の低下や雇用の減少が叫ばれる中、上記の基本理念に基づいた、戦略1～7の7つのプロジェクト（次頁参照）を設定し、それらを構成する施策を商工会議所、NPO等の市民団体、漁業者などが協働で展開することにより、交流人口の拡大や雇用機会の創出を図り、市民一人一人の館山湾への愛着心を高め、各人が来訪者に対する“おもてなし”の心を醸成できるような地域（湾）づくりを目指します。



市民一人一人の館山湾への愛着心の高まり

来訪者に対する“おもてなし”の心の醸成

3. 館山湾振興ビジョンの全体構成ー①

基本理念	戦略プロジェクト	個別施策
“千(船)客万来”の交流拠点・館山湾	戦略1 館山港多目的観光棧橋利活用プロジェクト 定期旅客船、クルーズ客船など多様な船を誘致し、市民や来訪客で賑わう拠点づくりを目指します	旅客船の定期航路化
		クルーズ客船等の定期的な寄港の推進
		各種イベント等の活用
	戦略2 交流拠点“渚の駅”を含めた交流ゾーン形成プロジェクト 館山湾すべての資源や観光情報を集めた観光情報発信（提供）や交通の交流拠点づくりを目指します	交流拠点（駐車場、ターミナル等）の形成
		交流拠点へのアクセス道路の環境整備（シンボルロードⅡ期）
		交流拠点の認知度向上
	戦略3 プレジャーボート利活用プロジェクト プレジャーボートなど海を楽しむ人や船が集積するマリンレクリエーション拠点づくりを目指します	プレジャーボート係留・保管（マリーナ）施設づくり
		クルージングポイントづくり（ビジターハーバー）
		ビルフィッシュ拠点化
	戦略4 ビーチ利用促進モデル事業 および那古船形海岸事業推進プロジェクト 貴重な自然や、海岸からの景観、眺めを活用し、地域に住む人など、訪れたすべての人を癒す海浜空間・散歩道づくりを目指します	菜の花海道（海辺のプロムナード）づくり
		ビーチバレー拠点
		海・浜のルールづくり
		ユニバーサルビーチ
		飛砂防止

具体的内容	期待される効果	実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ● 他地域と結ぶ定期航路開設に向け、船会社への働きかけ（施設やサービスのニーズ確認等）の実施 ● 就航実現に向け、市内観光の魅力アップ、地域の盛り上げ、交通利便性やサービス施設整備など、訪れる人にとっての環境整備の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的観光棧橋の受け入れによる地元経済への波及効果 ・ 知名度の向上 ・ 地域住民の他地域への交通利便性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客船等歓迎委員会 ・ 市（みなとまちづくり課） ・ 館山市観光協会／旅行代理店
<ul style="list-style-type: none"> ● クルーズ客船、艦船、帆船、海上保安庁船などの定期的な寄港に向けて、関係機関等への働きかけ（施設やサービスのニーズの確認等）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元経済の波及効果 ・ クルーズ体験機会の提供 ・ 知名度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客船等歓迎委員会 ・ 市（みなとまちづくり課） ・ 館山市観光協会／旅行会社等
<ul style="list-style-type: none"> ● 既存イベントの中での、多目的観光棧橋利用の検討、新たな多目的棧橋を活用したイベントの企画・実施 ● 多目的観光棧橋上での海岸浴（シーサイドセラピー）等の新規イベントの企画立案 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多目的棧橋の利用促進 ・ 来訪者（観光客）の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民団体、NPO 等
<ul style="list-style-type: none"> ● 海上と陸上交通の結節点、観光等の情報提供の拠点整備 ● 交流拠点の周辺地域における駐車場の確保の可能性の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者（観光客）の増加 ・ 来訪者と地域住民との交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（みなとまちづくり課）
<ul style="list-style-type: none"> ● 汐入橋～交流拠点“渚の駅”（現在の安房博物館）までの道路環境（沿道環境・プロムナード等）の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者（観光客）の増加 ・ 交流拠点と一体的な景観形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（都市計画課）
<ul style="list-style-type: none"> ● “渚の駅”の認知度向上のため、「みなとオアシス」等への登録を契機とした、同施設の今後の利用方針についての検討、道の駅・海の駅への登録の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者（観光客）の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（みなとまちづくり課） ・ 市民団体、NPO 等
<ul style="list-style-type: none"> ● 館山地区（湾）に係留されている放置プレジャーボートの収容（適正な係留保管）を図るため、館山湾全体（港湾・漁港）で対応の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業者など他の水域利用者とのトラブルの減少 ・ 良好な環境の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（農水産課） ・ 市（みなとまちづくり課）
<ul style="list-style-type: none"> ● 東京湾口に位置する立地特性を活かし、プレジャーボートのクルージング寄港地として拠点を形成するため、多目的観光棧橋、船形漁協での対応の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレジャーボート利用者の増加 ・ ビジター拠点としての知名度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（みなとまちづくり課） ・ プレジャーボート利用者団体
<ul style="list-style-type: none"> ● ビルフィッシュ（カジキ釣り）トーナメントの誘致実現、ビルフィッシュ拠点の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ プレジャーボート利用者の増加 ・ ビルフィッシュトーナメント地としての知名度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（みなとまちづくり課） ・ プレジャーボート利用者等
<ul style="list-style-type: none"> ● 船形～沖ノ島までのプロムナード整備と、那古船形海岸の侵食・埋没対策、北条海岸のビーチ利用促進モデルⅡ期事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民や来訪者にとって魅力的で快適な海辺環境の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（みなとまちづくり課）
<ul style="list-style-type: none"> ● ビーチバレーを中心とした、ビーチスポーツの拠点の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビーチスポーツ拠点としての知名度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（みなとまちづくり課）
<ul style="list-style-type: none"> ● 海水浴、ウインドサーフィン、水上バイクなどの利用者が安全に、快適に利用できるためのルールづくりとルールの周知化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マリンスポーツ等利用者の安全の確保と増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（みなとまちづくり課）
<ul style="list-style-type: none"> ● お年寄りの方、身体に障害を持った方が不自由なく、安全に楽しめるビーチ整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者の増加（年間を通じた利用の促進） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（みなとまちづくり課） ・ 市民団体等
<ul style="list-style-type: none"> ● 北条海岸・新井海岸から背後道路や背後地への飛砂を抑制するため、柵や植栽等の防止策の導入の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンボルロードの景観的魅力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市（建設課）

3. 館山湾振興ビジョンの全体構成－②

基本理念	戦略プロジェクト	個別施策
“千（船）客万来”の交流拠点・館山湾	戦略5 船形漁港・船形地区活性化プロジェクト 交流の歴史、漁業と水産業を活かした、館山市北端部の拠点づくりを目指します	船形地区活性化
	戦略6 館山湾及び館山市沿岸域の海上・陸上交通網の構築プロジェクト 来訪者に、館山湾の全ての資源を体験してもらい、楽しんでもらうための海、陸のインフラを整えた、海上交通・陸上交通のネットワークづくりを目指します	館山湾遊覧船運航
		ガイドの育成
		サブ拠点の充実
		館山湾のシーニックポイント（眺望点・おすすめ）・マップ
		館山湾セールスポイント（シンボル）づくり
		モデルコースの開発
		広域幹線道路と館山湾のアクセス性強化
	戦略7 館山湾多目的（防災・安全・環境）利用プロジェクト 湾口に位置する立地性や、貴重な自然環境を活用し、首都圏の広域的な役割を担う湾づくりを目指します	（防災面） 首都圏における災害に備えた館山湾の防災機能高度化の推進
		（環境面） 館山湾の自然環境を保全する基盤づくり

具体的内容	期待される効果	実施主体
● 館山湾北端部の拠点のイメージ（将来像）に基づく、実現に向けた仕組みの展開	・ 来訪者（観光客）の増加 ・ 地域住民の魅力的で快適な交流拠点の形成	・ 市（農水産課） ・ 市（みなとまちづくり課）
● 遊覧ルートの検討、社会実験の実施、運航事業者や船舶の調達などの館山湾内遊覧船の運航に向けた検討	・ 来訪者（観光客）の増加	・ 市（みなとまちづくり課）
● 遊覧船の定期運航に向けて、湾内を案内するガイドの育成	・ 来訪者（観光客）の増加	・ 市（商工観光課） ・ 市民団体、NPO 等
● 渚の駅を中心とした観光情報等ネットワークの形成、道の駅に加えたサブ拠点の選定、ネットワーク機能の充実 ● サブ拠点候補として、洲崎灯台周辺・城山公園・船形、下原漁港等を含めた選定、ネットワークの形成	・ 来訪者（観光客）の増加 ・ 魅力的な情報の提供・発信の充実	・ 市（商工観光課） ・ 市（みなとまちづくり課）
● 館山湾のさらなる魅力を内外に PR するため、市民などが中心となって湾の魅力や資源を再発見し、紹介するマップの作成を企画・実施	・ 来訪者（観光客）の増加	・ NPO 等 ・ 市観光協会等
● 館山湾のセールスポイント（シンボル）について、市民等が中心となって話し合う場の設置、観光 PR、パンフ等への反映	・ 来訪者（観光客）の増加	・ NPO 等 ・ 市（みなとまちづくり課）
● 湾内の遊覧船を活用して、「日本風景街道－南房総・花海街道」など、陸域にある地域資源とネットワークした観光商品（ツアー）を企画・実施	・ 来訪者（観光客）の増加	・ 市（商工観光課） ・ 市（みなとまちづくり課） ・ NPO 等 ・ 民間（旅行会社等）
● 館山湾へのアクセス性強化のため、国道 127 号（4 車線化）、「（仮称）船形バイパス」並びに「都市計画道路船形館山港線」の整備促進、及び地域高規格道路館山・鴨川道路の早期事業化	・ 富浦 I.C から市内及び市外への交通の円滑化 ・ 富浦 I.C と館山湾を直接結ぶ新たな交通動線の形成 ・ 国道 128 号の交通渋滞緩和	・ 市（都市計画課）
● 東京湾口の立地特性を活用し、首都圏の防災拠点の補完的な役割を担う、館山港の役割を位置づけ、国などへ働きかけの実施、及びそのための防災機能の充実	・ 首都圏の基幹的広域防災拠点を支援する機能の充実	・ 市（社会安全課）
● 館山湾（海域・陸域）の自然の貴重さ、豊かさなどを調査し、市内外に PR（公表）していくための、各種基礎調査の推進、環境基本計画の策定に向けた取り組みの推進	・ 館山湾の自然を大事にする意識の醸成 ・ 地域学習、環境学習などの活用の拡大	・ 市（環境課）

4. 館山湾振興ビジョンの戦略プロジェクト位置図

戦略1 館山港多目的観光桟橋活用プロジェクト

- ・旅客船の定期航路化
- ・クルーズ客船等の定期的な寄港の推進
- ・各種イベント等の活用



戦略3 プレジャーボート利活用プロジェクト

- ・ビルフィッシュ拠点化
- ・クルージングポイントづくり
- ・プレジャーボート係留・保管（マリーナ）づくり



戦略4 ビーチ利用促進モデル事業 および那古船形海岸事業推進プロジェクト

- ・菜の花海道（仮称）（海辺のプロムナード）づくり
- ・ビーチバレー拠点
- ・海・浜のルールづくり
- ・ユニバーサルビーチ
- ・飛砂防止策（柵や植栽）の検討



戦略7 館山湾多目的（防災・安全・環境）利用プロジェクト

- ・（防災面）首都圏における災害に備えた館山湾の防災機能の高度化の推進
- ・（環境面）館山湾の自然環境を保全する基盤づくり

戦略5 船形漁港・船形地区活性化プロジェクト

- ・船形地区活性化

戦略3 プレジャーボート利活用プロジェクト

- ・プレジャーボート係留・保管施設づくり

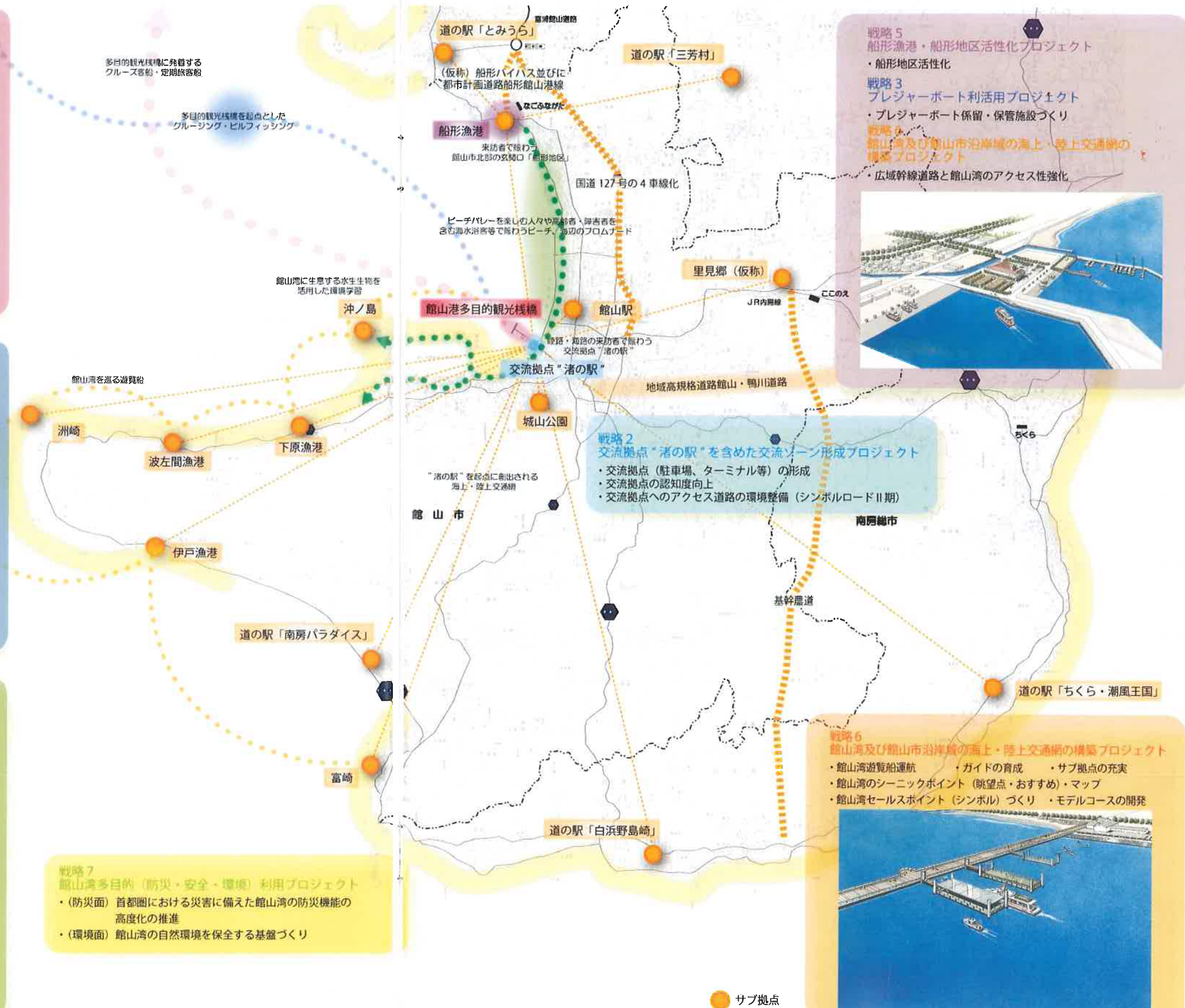
戦略4 館山湾及び館山市沿岸域の海上・陸上交通網の構築プロジェクト

- ・広域幹線道路と館山湾のアクセス性強化



戦略6 館山湾及び館山市沿岸域の海上・陸上交通網の構築プロジェクト

- ・館山湾遊覧船運航
- ・ガイドの育成
- ・サブ拠点の充実
- ・館山湾のシーニックポイント（眺望点・おすすめ）・マップ
- ・館山湾セールスポイント（シンボル）づくり
- ・モデルコースの開発



5. 館山湾振興ビジョンの実現に向けて

本項では、「館山湾振興ビジョン」の各個別施策のアクションプランの策定に向けた実施方針として、各戦略プロジェクト・各施策の実現化に向け、今後どのように事業を進めていくかについて検討・提案します。

館山湾振興ビジョンの各個別施策と目標達成時期

プロジェクト	個別施策		目標達成時期		
			3年以内	3～5年	5～10年
戦略1 館山港多目的観光棧橋利用プロジェクト	旅客船の定期航路化		→		
	クルーズ客船等の定期的な寄港の推進		→		
	各種イベント等の活用		→		
戦略2 交流拠点“渚の駅”を含めた交流ゾーン形成プロジェクト	交流拠点（駐車場、ターミナル等）の形成		→		
	交流拠点へのアクセス道路の環境整備（シンボルロードⅡ期）		→		
	交流拠点の認知度向上		→		
戦略3 プレジャーボート活用プロジェクト	プレジャーボート係留・保管（マリーナ）施設づくり		→	→	→
	クルージングポイントづくり（ビジターハーバー）		→	→	
	ビルフィッシュ拠点化		→	→	→
戦略4 ビーチ利用促進モデル事業および那古船形海岸事業推進プロジェクト	菜の花海道（海辺のプロムナード）づくり		→	→	→
	ビーチバレー拠点		→		
	海・浜のルールづくり		→		
	ユニバーサルビーチ		→		
	飛砂防止		→	→	→
戦略5 船形漁港・船形地区活性化プロジェクト	船形地区活性化		→	→	→
戦略6 館山湾及び館山市沿岸域の海上・陸上交通網の構築プロジェクト	館山湾遊覧船運航		→		
	ガイドの育成		→		
	サブ拠点の充実		→	→	
	館山湾のシーニックポイント（眺望点・おすすめ）・マップ		→		
	館山湾セールスポイント（シンボル）づくり		→		
	モデルコースの開発		→		
	広域幹線道路と館山湾のアクセス性強化		→	→	→
戦略7 館山湾多目的（防災・安全・環境）利用プロジェクト	（防災面） 首都圏における災害に備えた館山湾の防災機能高度化の推進		→	→	→
	（環境面） 館山湾の自然環境を保全する基盤づくり		→	→	

※ 「3年以内」は概ね3年以内での実現を目指す施策
「3～5年」は概ね5年以内での実現を目指す施策
「5～10年」は概ね10年以内での実現を目指す施策

旅客船の定期航路化に向け、現在2ヶ月間実施している季節運航期間の拡大に向けた、市民・観光客等の乗船ニーズの把握を行います。また、クルーズ客船等の定期的な寄港のため、ポートセールスの促進と拡大を行います。また、多目的観光棧橋が一年中を通して利用されるよう、イベント等の年間スケジュールを作成します。

・旅客船の定期航路化 - 進め方（案）

館山市

【構成メンバー】

館山市（みなとまちづくり課）

【検討項目】

- 現在季節運航実施期間の拡大に向けた、乗船ニーズの把握

・クルーズ客船等の定期的な寄港の推進 - 進め方（案）

館山市 客船等歓迎委員会(既存)

【構成メンバー】

館山市

館山市商工会議所

NPO 団体等

【検討項目】

- クルーズ客船以外の船舶（艦船等）の所有者等、ポートセールスを行う対象の拡大
- 寄港歓迎イベント等の魅力をさらに高め、寄港地としての認知度の向上
- 多目的観光棧橋の延伸や浚渫の働きかけ

・各種イベント等の活用 - 進め方（案）

多目的観光棧橋イベント審査・選定部会(仮称)

【構成メンバー】

館山市

千葉県（港湾管理者・海岸管理者）

館山市観光協会

公募により選出した市民

【検討項目】

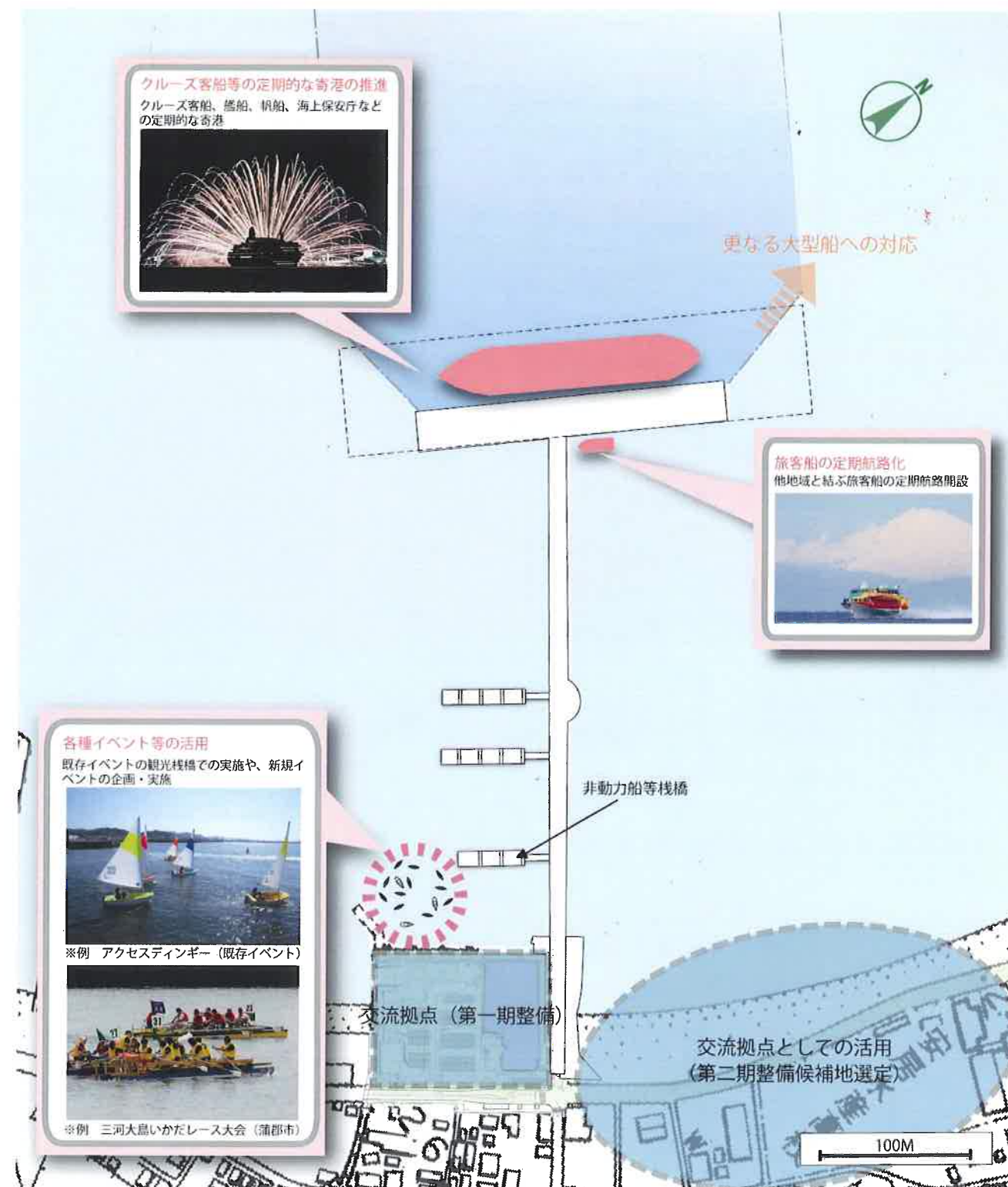
- 公募のPR・取りまとめ
- 地域性・独自性等を考慮した販わい創出に資するイベントの選定
- 多目的観光棧橋を利用したイベントの年間スケジュールの作成

イベント実施の申請



イベント実施の許可

市民、市民団体



戦略1 館山港多目的観光棧橋利活用プロジェクト将来構想図

戦略2 交流拠点“渚の駅”を含めた交流ゾーン形成プロジェクト

みなとオアシスたてやまの中核施設である“渚の駅”が、地域住民や来訪者に活用されるよう、運営主体の選定から供用までをスムーズに行える体制の構築やアクセス強化のためのシンボルロード延伸のための地元の機運づくり、認知度向上に向けた、道の駅、海の駅とのダブル登録、トリプル登録に向けたサービス・機能の集約化を推進します。

・交流拠点（駐車場、ターミナル等）の形成 - 進め方（案）

渚の駅づくり検討委員会（既存）

【構成メンバー】

館山市

千葉県

漁業協同組合

館山市観光協会

館山市商工会議所

NPO 団体等

民間事業者

市民

【検討項目】

- 低・未利用地の活用による駐車場スペースの確保
- 路線バス等、二次交通のターミナル誘致などの検討
- “渚の駅”の運営主体候補に必要な要件等についての検討
- 運営主体選定から供用までスムーズに行える体制を構築
- 場所の確保など地場産業の特性を活かしたスポットづくり

・交流拠点へのアクセス道路の環境整備（シンボルロードⅡ期） - 進め方（案）

館山市

【構成メンバー】

館山市（都市計画課）

幅員や橋梁、歩行空間等の機能について調整

館山市（各関係部局）

【検討項目】

- 幅員や橋梁、歩行空間等の機能などについて関係部局と調整
- I 期部分の景観的魅力的向上による、II 期事業の推進に対する地元機運の向上

・交流拠点の認知度向上 - 進め方（案）

館山市

【構成メンバー】

館山市（渚の駅準備室）

道の駅や海の駅の登録に向けた連携

館山市（各関係部局）

【検討項目】

- 道の駅、海の駅とのダブル登録、トリプル登録に向けた、各種サービス・機能の“渚の駅”への集約化



戦略2 交流拠点“渚の駅”を含めた交流ゾーン形成プロジェクト将来構想図

館山湾がプレジャーボートの拠点として活用されるよう、クルージングポイントとしての知名度及びキャパシティの向上を目指し、各種イベントや推進体制づくりを進めます。

・プレジャーボートの係留・保管（マリーナ）施設づくり - 進め方（案）

館山湾プレジャーボート係留保管適正化推進協議会（仮称）

【構成メンバー】

館山市

千葉県（港湾管理者・漁港管理者）

マリーナ事業者（他地域から招聘）

プレジャーボート利用団体
（館山外洋ヨットクラブ）

漁業者・関係者

海上保安部（オブザーバー）

【検討事項～適正な係留・保管に向けて】

- 暫定的な係留・保管場所の選定
- 暫定的な係留・保管場所への誘導
- 暫定的な係留・保管場所での管理運営体制
- 恒久的な係留保管施設の確保に向け、位置や構造、静穏度などの検討
- 関係者との協力体制 など

・クルージングポイントづくり（ビジターハーバー） - 進め方（案）

館山湾プレジャーボート利活用PR促進チーム（仮称）

【構成メンバー】

館山市

千葉県（港湾管理者・漁港管理者）

マリーナ事業者

プレジャーボート利用団体
（館山外洋ヨットクラブ）

漁業者・関係者

館山市観光協会

海上保安部（オブザーバー）

【検討事項～クルージング拠点に向けた取り組み】

- クルージング拠点としての売り込み（PR・広報）
- 魅力的なクルージング拠点のためのイベントの企画、実施
- クルージングに関する各種情報の発信
- 関係者との協力体制づくり
- 施設管理者の育成 等
- （ビルフィッシュトーナメント誘致活動）

・ビルフィッシュ拠点化 - 進め方（案）

館山湾プレジャーボート利活用PR促進チーム（仮称）

【構成メンバー】

館山市

千葉県（港湾管理者・漁港管理者）

マリーナ事業者

プレジャーボート利用団体
（館山外洋ヨットクラブ）

漁業者・関係者

館山市観光協会

【検討事項～ビルフィッシュトーナメント誘致活動】

- 県や海区漁業調整委員会などへの働きかけ（要望書や署名など）
- 地元プレジャーボート関係者の機運づくり
- 漁業者等、関係者との協力体制づくりなど（クルージング拠点に向けた取り組み）
- 館山湾の釣り人口拡大、釣りのメッカとしての定着化を図るための大会（身近なものから本格的なものまで）等の継続的な実施



戦略3 プレジャーボート利活用プロジェクト将来構想図

館山湾のビーチが様々な人でにぎわい、安全に利用されるよう、ビーチを含む海辺のプロムナードの名称選定や、ビーチバレーの拠点化に向けた取り組み、プレジャーボートや水上バイク、遊泳者等が共存できるようなゾーニングの作成、障害者や高齢者が海に親しめるような環境（未舗装路車いすの導入）の整備、飛砂防止策の提案を行います。

・菜の花海道（海辺のプロムナード）づくり - 進め方（案）

菜の花海道(仮称)ネーミング選定委員会(仮称)

【構成メンバー（審査員）】

館山市（各部署）

千葉県（港湾管理者・海岸管理者）

館山市観光協会

公募により選出された市民

有識者

【検討項目】

- 地域に適した（市民に親しまれる）名前かどうか
- 既存のネーミングと重複、類似しないか

最終候補の選定

市民による投票

愛称の決定

例えば
・鏡ヶ浦海道
・館山湾海道 等

・ビーチバレー拠点 - 進め方（案）

館山市

【構成メンバー】

館山市（みなとまちづくり課）

↓ 誘致に向けた働きかけ

ビーチボール関係者（大学、ピ文協等）

【検討項目①：学生大会の開催】

- 館山市に保養所・研修所等を有する大学のビーチバレー関係者等への売り込み

【検討項目②：大規模な大会の誘致】

- 日本ビーチ文化振興協会等、ビーチバレーボール大会主催者への働きかけ
- 大会運営者等、ビーチバレー拠点を担う主体の選定

・海・浜のルールづくり - 進め方（案）

海・浜のルールづくり検討委員会(既存)

【構成メンバー】

館山市

千葉県（港湾・海岸・漁港管理者）

漁業関係者（水域利用者）

水上バイク等利用者（水域利用者）

プレジャーボート関係者（水域利用者）

その他ビーチ利用者（水域利用者）

警察・消防関係者（オブザーバー）

【検討項目】

- 鏡ヶ浦において、既に実施されているゾーニング等の範囲拡大による事業推進
- 水域利用の適正なゾーニング（段階的）
- 各関係者間の合意
- パンフレットのデザイン等

【アウトプット】

水域利用に関するゾーニング
パンフレットの作成・配布

・ユニバーサルビーチ - 進め方（案）

ユニバーサルビーチ化検討ワーキンググループ(仮称)

【構成メンバー】

館山市

千葉県（海岸管理者）

福祉活動 NPO 等（実施主体候補）

たてやま・海辺の鑑定団（実施主体候補）

有識者（ノウハウの提供）

【検討項目】

- 社会実験参加モニターの募集
- 社会実験の実施
- 社会実験結果の検証
- 実施主体の確保
- 未舗装路車いす（ランディーズ）車椅子等
など、障害者用設備の充実
- シーサイドセラピー（海岸浴）を含めたユニバーサルビーチのPR化

・飛砂防止策 - 進め方（案）

館山市

【構成メンバー】

館山市（みなとまちづくり課）

館山市（都市計画課）

館山市（建設課）

【検討項目】

- 景観や眺望性、環境に配慮した柵、植栽（背の低い海浜植物等）等の導入検討
- 館山湾に適した飛砂防施策の検討
- 社会実験の実施
- 社会実験結果の検証
- 実施主体の調整
- 千葉県（海岸管理者）との協議・調整
（整備実施について）

海・浜のルールづくり

各水域利用者が安全に、快適に水域を利用するためのルールづくり



ユニバーサルビーチ

高齢者や障害を持った方のための海水浴場



※例 ランティーズ（館山市所有）

海上自衛隊館山航空基地

菜の花海道（仮称）

（海辺のプロムナード）づくり

船形～沖ノ島までの海岸遊歩道化等



※例 よこすか海と緑の1万mプロムナード

ビーチバレー拠点

ビーチバレーの他、各種ビーチスポーツの拠点化



飛砂防止策（柵・植栽等）の検討

快適な遊歩道環境の確保



戦略4 ビーチ利用促進モデル事業および那古船形海岸事業推進プロジェクト将来構想図

館山道富浦I.Cから国道127号線を通り館山市中心市街地方面へ向かうという従来の自動車の動線を、船形地区～シンボルロード～“渚の駅”といった海岸沿いに引き込むために、船形地区を館山湾北端部の拠点として位置づけて、飲食・物販・各種情報発信機能の強化や漁港施設用地の有効利用、プレジャーボートの係留保管、クルージングポイントなどについて検討する仕組みをつくります。

・船形地区活性化 - 進め方（案）

船形地区活性化検討部会（仮称）

【構成メンバー】

館山市

千葉県（漁港管理者）

漁業関係者（民間活力の受け入れ）

有識者（賑わいづくりに関する助言）

プレジャーボート利用者

館山市観光協会

海上保安部（オブザーバー）

【検討項目】

- 導入する販売強化機能の検討（イベント、地元利用の促進等）
- ボートフィッシングレジャーの可能性の検討（レンタルボート等）
- 公共施設を利用した新たなフィッシュリーナの可能性について検討
- クルージングポイントや釣り情報など、各種情報の発信
- 船形地区の海の駅への登録の検討
- 事業方法（PFIの導入等）の検討



船形地区活性化イメージ図



館山湾を訪れた人々が心行くまで湾の魅力を満喫できるよう、定期遊覧船の就航に向けた事業者の選定や、経験者を招聘した船上ガイドの育成、サブ拠点候補の選定、シーニックポイントに関する情報の収集、セールスポイントの掘り起こし、それらを包含したモデルコースを開発し、試行します。

・館山湾遊覧船運航 - 進め方（案）

館山湾定期遊覧船就航検討部会（仮称）

【構成メンバー】

館山市
千葉県（港湾管理者）
旅行代理店
館山市観光協会
漁業関係者

【検討項目①】

- 乗客ニーズの把握
- ルート、料金等の検討・提案

【検討項目②】

- 運航事業者確保のためのセールスの展開
- ファムトリップ（旅行代理店等スペシャリストを招聘したモニター実験）の実施

【検討項目③】

- 運航事業主体の選定

・ガイドの育成 - 進め方（案）

たてやま・海の大学「ガイド育成講座」（仮称）

【実施メンバー】

館山市
ガイド経験者
ガイド候補者

【検討項目】

- ガイド経験者を講師とした研修の実施
- 運航社会実験時等を利用した予行練習の実施

・サブ拠点の充実 - 進め方（案）

館山市

【構成メンバー】

館山市（みなとまちづくり課）
↓ ↑ サブ拠点候補選定に向けた調整
館山市（各関係部局）

【検討項目】

- サブ拠点候補の選定
- 機能等の要件整理、魅力づくりの推進
- “渚の駅” から各サブ拠点までの二次交通の検討、周辺の観光資源への回遊性の確保

・館山湾のシーニックポイント（眺望点・おすすめ）・マップ - 進め方（案）

たてやま・海の大学「マップづくり講座」（仮称）

【実施メンバー】

館山市
NPO 等 市民団体
館山市観光協会

情報の提供 ↑ ↓ ウォーキングや写真コンテストの実施

市民、市民団体

【検討項目】

- ウォーキングや写真コンテストなどを通じたシーニックポイントの情報収集、マップ作成
- 作成後、情報の収集・フォローアップ、マップの更新

・館山湾セールスポイント（シンボル）づくり - 進め方（案）

館山湾セールスポイント開発ワーキンググループ

【実施メンバー】

館山市
館山市商工会議所
館山市観光協会
情報の提供 ↑ ↓ ウンガン！等を活用したニーズの抽出
市民、市民団体

【検討項目】

- パンフレット作成経験のある関係団体の協働による制作
- 新たなセールスポイントの掘り起こし
- マスコットやキャラクター、キャッチコピーなどの検討

・モデルコースの開発 - 進め方（案）

館山市

【構成メンバー】

館山市（みなとまちづくり課）
↓ ↑ ファムトリップへの招聘
旅行代理店やバス会社、タクシー会社等

【検討項目】

- モデル地区をサブ拠点としたファムトリップの実施
- 上記、サブ拠点、シーニックポイント、セールスポイント（シンボル）を少なくとも1つずつ網羅したコース検討

・広域幹線道路と館山湾のアクセス性強化 - 進め方（案）

館山市（都市計画課）

【検討項目】

- （仮称）船形バイパス並びに都市計画道路船形館山港線
⇒用地確保の見通しを明らかにするため、地権者の協力を取り付ける。また、詳細設計を行い、整備時期を明確化する。
- 国道127号（4車線化）
⇒民間を含めた要望活動を実施する。なお、完成前に移管される場合にあつては、要望内容を今後必要とされる整備項目に含め、財源を担保するよう求める。
- 地域高規格道路館山・鴨川道路
⇒これまで行ってきた市単独の要望活動に代えて、3市1町（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）による建設促進期成同盟会を設立し、要望活動を実施する。

館山湾遊覧船運航
館山湾内を周遊する遊覧船の運航



遊覧船発着施設の設置
(環境に配慮した浮桟橋等)



ガイドの育成

船上から湾内を案内するガイドの育成



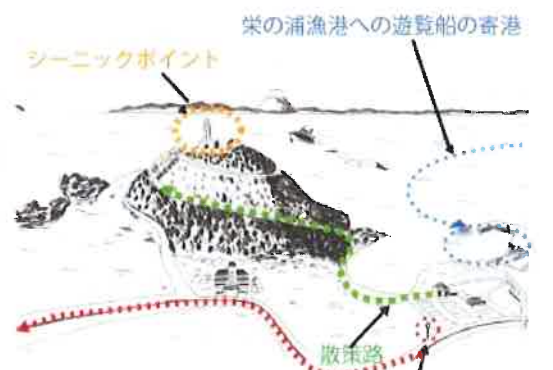
洲崎灯台



海中観光船たてやま号

モデルコースの開発

図中の
・海上交通
・サブ拠点
・シーニックポイント
・セールスポイント 等
を盛り込んだ観光モデルコースの開発



※例 マーガレット岬再生プロジェクト

花海街道

道の駅「南房パラダイス」

富崎漁港

道の駅「とみうら」
道の駅「三芳村」

②(仮称) 船形バイパス
並びに都市計画道路船形館山港線

①国道 127 号の 4 車線化



ダイヤモンド富

交流拠点「渚の駅」

③地域高規格道路館山・鴨川道路



赤山地下場跡

セールスポイントづくり

図中の(●)のような、館山湾のセールスポイントを整理する。
また、新たなセールスポイントづくりを検討する。

サブ拠点の充実

図中の(●)のような、館山湾周辺の拠点となりうる施設「渚の駅」を中心とした観光情報等のネットワークを形成する

シーニックポイントマップ

図中の(●)のような、館山湾を代表するシーニックポイントをマップに整理する



広域幹線道路と館山湾のアクセス性強化

- ①国道 127 号の 4 車線化
- ②(仮称) 船形バイパス並びに都市計画道路船形館山港線の整備
- ③地域高規格道路館山・鴨川道路の早期事業化

道の駅「ちくら・潮風王国」

道の駅「白浜野島崎」

凡例	
	JR内房線
	高速・有料道路
	国道
	主要地方道・一般県道
	房総フラワーライン

